

アートプロジェクト

天馬船プロジェクト

天馬船プロジェクトは、もともと富山県氷見市において、漁業に活用されていた木造和船の文化的保存と漁船技術の伝承を目的に始まったアートプロジェクトである。千葉国際芸術祭の本会期では、水辺を中心とした産業やコミュニティの発展に寄与することを目的に、花見川の水辺環境の活性化・浄化活動を支援し、地域と協働するアートプロジェクトとして展開する予定がある。

本プロジェクトに特化した「天馬船プロジェクトチーム」を立ち上げ、専門家や地域で水辺の市民活動を行う人々とともに、水辺文化の「ネットワーク」を育むことを目指す。単なる一過性のイベントとして終わるのではなく、地域と連携しながら、日常の中で水辺がより身近な存在となるような関係性を築く。

本プロジェクトは「ドネーション型」の開催形式を採用し、集められた寄付金を水辺の活性化に活用することを検討する。これにより、市民の主体性・協働性を高め、持続可能な文化活動としての定着を目指す。

河川を単なる自然環境として取扱うのではなく、表現のメディアとして位置づけ、誰もが参加できる文化活動を創出する。地域社会の営みとアートの社会実践を結びつけることで、花見川の水辺環境の整備や桜の植樹など、地域に根ざした取り組みを展開して、コミュニティ・アートプロジェクトとしての新たな可能性を探求する。

市民参加のかたち：ドネーション、観戦

